



働きざかり
47才

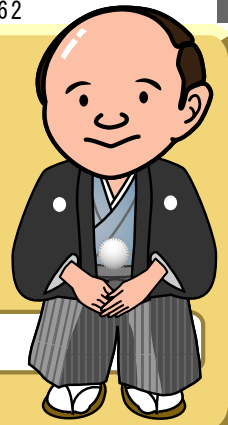
日野市議会議員

西野まさひと

活動報告 NO.12

ハッキリ言います！市政にひとこと！

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 【FAX】042-582-2866



世界の人々が訪れる
日野の街づくり！



平成20年を迎え、西野まさひと友の会では本年が日野市にとって発展の年となるよう祈念致します。さて、本号では平成19年度12月議会にて西野議員が行った一般質問の内容を中心に報告します。

P1・・・JR日野駅舎改修について

P2・・・河川敷の利用について

P3・・・日野駅周辺整備について

P4・・・ファイブリノゲン製剤薬害問題について

アスベスト健康被害問題について

市庁舎耐震問題について



ご挨拶



皆様のご支援を頂き日野市議会に押し上げて頂き早くも二年が過ぎようとしています。この間、「世界の人々が訪れる日野の街づくり」を目指して、「住みいい」「個性ある街づくり」「こころいい」「安心安全の街づくり」「いきいき」「活力のある街づくり」を活動の柱として一貫して指摘・提言をしてまいりました。

これからの発言する馬場与党の一員として、市民の声を聞きながらハッキリと市政に伝えて行きたいと思っています

日野市議会議員 西野正人

日野市議会

日野駅舎改修に向け、自民クラブがJRへ陳情！

市民の安全が第一！



朝のラッシュ時、JR日野駅ホームでは電車を待つ市民であふれ、時に身の危険を感じた方も多くいらつしやるのではないかと思います。事実、車椅子の転落事故もおきています。これは、単に駅舎の利便性の問題だけでなく「命」に関わる問題です。

現在日野市では平成13年に策定された「日野駅改良及び駅周辺地区整備計画策定調査」をもとに取り組み、平成16年には市が補助金を出すことによりエレベーターを設置し、バリアフリー化されましたが、JRは駅改修に対して全額地元負担を主張しており難航しているのが実状です。

国・都・日野市と連携してJRとの協議を！

そこで西野議員はじめ日野市議会自民クラブでは、平成19年11月26日に小川友一衆議院議員、古賀俊昭都議会議員とともにJR八王子支社長に対して陳情に伺い、要望書を提出し現状視察を行いました。



議員団・市職員とJR八王子支社へ陳情



議員団・市職員・JR職員と日野駅を視察

質問
18-1

日野市行政区域内における河川敷の利用について問う

多摩川緑地野球場利用の確保を！

このグラウンドの8割が
日野市行政区域内！

現在立川市が利用している「多摩川緑地野球場」は日野市の行政区域！
昭和45年の立川市への貸与決定時には
日野市の利用がうたわれていた！



日野市の運動施設の不足は深刻です。また、河川敷の多くが「生態系保持地域」等厳しく利用が制限されており、市独自での運動場確保は困難です。

しかし、現在立川市が利用している多摩川左岸JR中央線沿いの「多摩川緑地野球場」はその敷地面積約30万平米の内、約8割が日野市の行政区域です。さらに、立川市への貸与が決定された昭和45年には日野市の利用が明文化されています。これまで日野市では教育委員会が窓口となって日野市への利用拡大を交渉してきたのですが昨年はなんと2日、しかも4面あるグラウンドの1面のみを日野市の要望により立川市の厚意で利用したものでした。

正直なところ、これでは交渉しているとは言えません！市の姿勢を質し、

全面返還も辞さない態度で厳しく交渉に臨むべきと提言を行いました。



日野市民の利用を認めることが
明記されています！



質問
18-2

日野駅周辺整備及び日野駅改修に向けた取り組みについて問う

日野駅舎・日野駅周辺整備の推進を！

市職員・JR職員と
大坂上通りを視察！

「大坂上通り」の歩道拡幅・電線地中化を、
日野市・地域住民・実践大学そして超党派
で議会も一体となってJRと協議し、
実現しよう！



日野駅舎の改修についてJRに要望を行ったことについては前頁に述べましたが、駅周辺の面的整備についてもJR職員と現地視察を行い、要望を行いました。

とりわけ歩行者が容易にすれ違わない「大坂上通り」の歩道の狭さについては現状を確認していただき、早急に対応すべき問題であることを認識していただきました。現状を見ると、JRの敷地部分を利用し用壁を新たに造るなど、JRの協力無しには歩道拡幅は困難な状況です。

この問題は、すでに地域住民・実践大学からも日野市に要望が寄せられておりますが、議会も市民要望に応え、党派を越えて実現に取り組むべきと提言致しました。

日野駅改修に向けてのJRへの要望内容

- 鉄道敷法面を活用したホームの増設
(階段両脇のホームが極端に狭く大変危険！)
- 大坂上通り歩道拡幅の鉄道用地の協力
(※JR職員の方々にも視察の上危険性を確認！)
- 自動改札の南口の新設
- ホーム風防壁の設置
- 駅改札内エスカレーター設置



質問
18-3

薬害感染者への取り組みを問う

首相の政治決断を評価！



日野市内も6施設に
フィブリノゲン製剤納入！

市は情報を周知し、
検診の徹底を！



まずは昨年末、福田首相の政治決断により薬害肝炎問題に解決の道筋が出来たことを評価し、英断した現政権に感謝したいと思います。

しかしながら、薬害感染者の皆様はまだこれから長い間病魔と闘って行かなければなりません。自らに何の落ち度もないのにある日突然このような災禍に見まわれた心中を察し、国を中心とした公的助成が充分になされるように願います。

さて、日野市においては、廃院した医療機関を含めると**6施設にフィブリノゲン製剤が納入されています**。この事実をふまえ市の対応を質しました。

市では平成14年より肝炎ウイルス検診を行ってきましたが、緊急対策として平成16年12月17日から平成17年3月31日までの間感染の可能性があった方27名に肝炎ウイルス検診を行いました。結果は全て陰性であったとのことでした。

肝炎は発症まで時間がかかる場合もありますので、今は体調の不良を感じていなくても定期的な検診の呼びかけを行う必要があります。市には重ねて周知徹底のお願いを致しました。

質問
18-3

石綿健康被害への取り組みを問う

アスベスト健康被害への対応を！



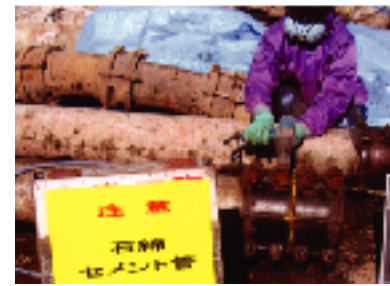
市は作業従事者への
情報提供を徹底せよ！

作業従事者の安全確保
に予算措置を！



私もかつてアスベストが使用されている水道管いわゆる「石綿管」の敷設工事を行っていました。当時は防塵マスクも付けずに当たり前のように「石綿管」を切断し工事を行っていました。

アスベストによる健康被害は長い時間において発症する例も多いことから、作業従事者・かつて従事していた方への情報の周知、検診の徹底が必要です。中小企業では定期的な検診が行われていない場合もありますから、市は発注者としての立場からもしっかり周知すべきであると提言しました。



確認されたときは、飛散防止の対策を行わなければなりません。このような時、**市は補正等の予算措置を行い、作業従事者がしっかりと安全を確保が出来るように重ねて提言いたしました。**

質問
18-3

日野市庁舎耐震化について問う

市庁舎の耐震診断を！



巨大地震発生の危険
が高まる今！

市庁舎の耐震診断を
早期に行うべきです！



近い将来起こるとされている首都直下地震に対し、政府は中央防災会議において被災に対する備えとして立川にある広域防災基地を設備強化し対策を進めています。日野市内にも「立川断層」が存在し、首都直下による大規模被災を免れても、活断層による危険性を抱えています。

日野市庁舎は新耐震基準以前の建物です。地下駐車場の構造など、大規模地震発生時の耐震性に対して、市民の多くの方から心配の声が寄せられています。しかし、日野市は、現時点で耐震診断すら行っていないのが現状です。



市庁舎は市職員はもとより、日々多数の市民の立ち寄る場所です。**何より市民の「命」に関する問題ですので、現状を把握するためにも早急に耐震診断を実施すべきであると提言いたしました。**



「国・都・市と
連携をとって！」

衆議院議員
小川友一

新年明けましておめでとーございます。

さわやかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。本年も国民のため、国益のため全力で取り組みますので宜しくお願い致します。

昨年、参院の与野党逆転を受け福田政権がスタートしました。国会を停滞させてはなりません。党利党略のためではなく、国民のために一つひとつの法案に対処していくべきであり、この事が真に国民の負託に応えることになると考えます。

さて、日野市におきましては、昨年三月に日野バイパスを開通させることが出来ました。交通事情が大きく改善し、渋滞解消による経済効果は年間約31億円です。さらには他の生活道路への交通量が減り、安全性が高まりました。この道を更に延長し、インフラ整備を進めるべく日野市、八王子市の議員らと議連を立ち上げて国へ要請を続けております。

また、昨年十一月に日野駅、豊田駅の改修をJRに要請しました。こちらも日野市議会議員とともに行動を起こしました。こうした活動は皆様の日常に大きな利便性をもたらすはずで

す。政治は一人では出来ません。志をともにする仲間が集まり初めて大きなことを成し遂げられるのです。今後とも市政・都政・国政がしっかりと手を携えて働いてまいりますので、市民の皆様にご理解とご協力をいただければ幸いです。

2008年を迎えて！



「日野新時代に
向けて！」

日野市長
馬場弘融

新しい年を迎え、市民の皆様にご慶びを申し上げます。本年のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、日野市にとって大きな成果を実現した一年でありました。高幡不動駅舎が建て替えられ、国道20号バイパスの開通など、市民生活に直結した基盤整備が整えられました。そして、財政面においても平成17・18年度とも黒字決算となり好転の兆しを見せています。

振り返れば、わたくしが市長となってから早くも三期目の半ばを過ぎました。就任当時、日野市はまさに瀕死の状態と言っても過言では無かったと思います。それが今、近隣他市にようやく追いつく状況にまで来ることが出来たのは、ひとえに市民の皆様のご理解とご尽力のおかげだと改めて痛感しております。

バブル崩壊後の不況の中、「市民参画」を掲げ様々な難局を市民の一人ひとりにお力をお借りし乗り切ってきた参りましたし、財政面においても市内業者を始め多くの方々に痛みを伴うご協力を賜りました。この場をおかりして改めて厚く御礼申し上げます。

新たな年を日野市にとって良き年となるよう、西野議員を始め議会の皆様としっかりと連携をとり市政運営に努めて参ります。これから自治体間格差が拡大する時代となります。先人の偉業に恥じぬよう日野の伝統と文化そして世界に誇る技術力をさらに発展させ魅力ある街づくりを行って参ります。

「西野まさひと友の会 賀詞交歓会」のご案内！

お誘い合わせの上
ご参加ください！

日 時 平成20年 1月19日(土)
午後 5時30分 受付開始
午後 6時 開会
会 場 日野市商工会館3階
会 費 2,000円
問合せ先 電話 042-587-4662



※誠に申し訳ございませんが、駐車場が少ないため、お車でのご来会はお遠慮くださいますようお願い申し上げます。